



E コマンド

この章では、E で始まる Cisco NX-OS ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) コマンドについて説明します。

ebgp-multihop

exterior Border Gateway Protocol (eBGP) の存続可能時間 (TTL) の値を eBGP マルチホップをサポートするように設定するには、**ebgp-multihop** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ebgp-multihop *ttl-value*

no ebgp-multihop *ttl-value*

構文の説明

<i>ttl-value</i>	eBGP マルチホップ用の TTL 値。指定できる範囲は 2 ~ 255 です。このコマンドの使用後、BGP セッションを手動でリセットする必要があります。
------------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

BGP ネイバー コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ebgp-multihop コマンドは、eBGP の存続可能時間 (TTL) の値を eBGP マルチホップをサポートするように設定するために使用します。eBGP ピアは状況によって、別の eBGP ピアに直接接続されず、リモート eBGP ピアに到達するために複数のホップを必要とします。ネイバー セッションに eBGP TTL 値を設定すると、このようなマルチホップセッションが可能になります。

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、eBGP マルチホップ値を設定する例を示します。

```
switch(config)# router bgp 1.1
switch(config-router)# neighbor 192.0.2.1 remote-as 1.2
switch(config-route-neighbor) ebgp-multihop 2
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature bgp	BGP 機能をイネーブルにします。